

機械器具7 内蔵機能代用器
高度管理医療機器 腹膜透析用カテーテル 34921000

JMS 腹膜灌流カテーテル

再使用禁止

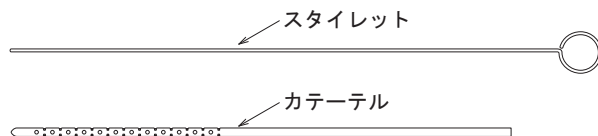
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

カテーテル、ストップ及びスタイレットからなる。スタイレットはあらかじめカテーテルに挿入されている。*

<構成（代表例）>



**【使用目的、効能又は効果】

腹腔内へ挿入、留置し、腹膜透析液の注入、排出に用いる。

**【操作方法又は使用方法等】

- (1) 手袋を装着します。*
- (2) 包装から本品を取り出します。
- (3) 中心臍下部3横指部の左右、及び左右前腸骨棘の内上方の部位を消毒します。 **
- (4) 局部麻酔を十分にいき、皮膚を小切開（約5mm）し、腹膜穿刺針を使用して腹膜穿刺を行います。 **
- (5) カテーテルを適当な形状に曲げ、腹腔内へ挿入します。 **
- (6) ダグラス窩に到着後、カテーテル上部100mmが残る程度に保持しながらスタイレットを抜去します。ダグラス窩に本品が到着すると、患者が肛門部に違和感を訴える場合があります。 **
- (7) カテーテルの挿入部を巾着縫合した後、腹膜灌流セットに接続し、腹膜灌流を開始します。 **

使用方法に関連する使用上の注意

- 接続部に薬液等が付着した場合は、緩みが生じるので注意すること。*

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 包装を開封したらすぐに使用すること。
- 包装が破損、汚損している場合、及び製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。*
- カテーテルの接続部を曲げたり、カテーテルを過度に引っ張ったり押し込むような負荷がかからないようにすること。[接続部の外れ液漏れ等が生じる可能性がある。]*
- 使用中は本品と腹膜灌流セットとの接続部の緩み、外れ、液漏れ等に注意し、定期的に確認すること。*

2. その他の注意

- 腹腔に挿入する部分に直接手を触れないこと。*
- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法でただちに処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証（当社データ）により設定]

【包装】

10本入／袋

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元*

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806